

少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～ 少年教育推進目標～

湧ゆう湧くわく体験塾が「流氷&スノーハイク」体験

2月11日、この日は朝から見事な晴天。残念ながら、前日まで接岸していた流氷は沖合に離れていましたが、オホーツク海の真っ青なパノラマと海に浮かぶ白い流氷のコントラストは心が晴れ晴れするような絶景でした。

この日は4年生と5年生16名が参加。講師はゆうべつアウトドアクラブ YU-PAL の皆さん。レイクパレス前で開会式を行って、3グループに分かれてまずは防風林を目指しました。初めに講師が目をとめたのが、雪面に残る翼の跡。近くには動物が格闘したと思われる跡もあり、大きな鳥が獲物を襲って飛び去った様子がかがえます。林に入ると、大きな鳥が吐き戻した餌の塊やキツネ・ネズミの足跡が見られ、子どもたちは足跡の特徴から歩き方や進行方法を見分けるポイントなどを教わっていました。海岸では流氷のでき方や「流氷」と「海氷」との違いなどを教わりました。帰り道では天然記念物のオジロワシが悠然と目の前を飛び去り、冬ならではの貴重な体験ができました。



明日の元気は、きょうのスポーツから みんなで体を動かし楽しもう ～スポーツ振興の推進目標～

ウインタースポーツで冬も健康に!

2月4日に五鹿山スキー場で「クロスカントリースキー教室」が開催され、10名が参加しました。湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会で3度の優勝経験がある島田武彦さん（札幌市）を講師に招き、体重移動して滑るスケータング技術やスキーの操作など中・上級者に向けたレッスンとなりました。参加者の皆さんは輝く銀世界を駆け抜け、楽しむ様子が見られました。



クロスカントリースキー教室



スケート大会

2月5日には、今年で53回目となる「湧別町スケート大会」が開催されました。町内の保育所やこども園、小学生など42名が参加し、50メートルから600メートルリレーまでの種目が行われ、子どもから大人まで白熱したレースが展開されていました。毎年恒例の「人間ダイビング」や「チョコレート拾い」などのアトラクションも行われ、ウインタースポーツを元気いっぱい楽しんでいました。

ちよいトレ☆教室! ~No.45~運動指導職員 三浦 茉 穂

◎ちよいトレ

■安らぎのポーズ

1. 全身の力をぬいて、ゆっくり呼吸をくり返す。



心の疲れもとってくれる、究極のリラクゼーションです。魂が抜けたように、体を動かさずに無の意識になってみましょう。筋肉、内臓、神経を休め、血液を全身に均等に循環させてくれるポーズになっています。
※私事です産休のため、ちよいトレ教室は少しの間お休みになります。復活のときまでお待ちください。



リレーエッセイ「スポーツ推進委員さんのある一日」 第148回

最近太り始めました…。
運動不足が原因でしょうか。以前は週4以上でやっていたバレーボールですが、関節が悲鳴をあげてきたので、最近では週1回程度にしています。今年で30歳になる私ですが週4のバレーボールはやりすぎのようです…。

バレーボールをやる回数を減らすと太る。回数を増やすと身体が痛くなる。困ったものです。4月には健康診断が！今のままではまずいので一か月と少し、バレーはできなくてもジムに行って筋トレ、ダイエットを頑張ろうと思います！



スポーツ推進委員 岸 貴元

子どもは町の宝 手を取り合い、支え合って育てよう ～家庭教育推進目標～

第11回【家庭教育コーナー】～お天道様が見ている～

少し前（2月頃）ですが、テレビではSNSに投稿された回転寿司店などでの無責任な行いが報じられていました。他のお客さんが注文した寿司を勝手に食べる、大量のワサビを盛る、醤油差しをなめる、などなど…。お店側も対策を練ったり、警察に届けたり、厳しい対応を取るようになってきたとのことでした。



私が小さいころに聞いて心に残っている言葉に「お天道様（おてんとうさま=太陽のこと）が見ている」があります。誰にも分け隔てなく光を届けるお天道様は、誰が見ていなくても、良いことも悪いこともみんな見ている、わかっている。だから、誰に誉められなくてもよい行いをし、悪いことはしないようにしなさい、ということです。

「子どもは親の背中を見て育つ」とも言いますね。親は子どもにとって一番身近な大人ですが、子どもは親だけではなく周りの大人を見ながら善悪や生き方を学んでいきます。言葉を覚えるのと一緒に。子どもは地域の宝とも言われるように、家庭だけではなく、地域に住むみんながお手本としての意識を持って関わっていききたいものです。

よいことをすれば心が晴れ晴れと喜びにあふれ、悪いことをすれば心が重く沈んで自責の念に苛（さいな）まれる。小さいころからそんな気持ちを育てていきたいものですね。

子育てに関する保護者の疑問や悩みに答える 家庭教育相談を行っています。

下記の連絡先でお待ちしています。また、参加者が気軽に子育てについて交流できる場の開設などを検討中です。関心のある方は下記までお問い合わせください

【アドレス】 adviser@town.yubetsu.lg.jp

【電話番号】 5-3132（社会教育課）

【アドレス】



令和5年度「教育行政執行方針」(抜粋)をお知らせします。

学校・家庭・地域・行政が一体となり、本町の教育振興と発展に向けて、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 「小中一貫教育の推進」

- ・優れた教育環境を確保するため、町内全域での小中一貫教育の推進
- ・ゆうべつ学園前期課程用屋内体育館の建設
- ・上湧別地区の施設一体型義務教育学校開校に向けた校舎整備

2 「学力向上の取り組み」

- ・北海道大学と連携した中学校での「学びの共同体」の授業スタイルによる学力向上
- ・「湧別町学校力向上プラン」を作成し、各校と連携した町内全体の学力向上

3 「ICT教育」

- ・複式学級での活用、他校とのオンライン授業、新型コロナのためのオンライン授業など、様々な場面での利用
- ・利用実態調査を行い、学習効果が高い活用方法を全校で共有

4 「安全・安心な学校づくり」

- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防対策による安全な校内環境づくりを行い、学校行事等の平常化
- ・オンライン授業やタブレットの持ち帰りを進め、学びを止めない体制の整備
- ・通学路交通安全プログラムを活用し登下校の安全確保
- ・ヘルメット購入補助の対象を中学生まで拡大し、自転車利用者の安全を確保

5 「豊かな心と健やかな体の育成」

- ・道徳授業や集団生活のルール指導
- ・運動の習慣化や規則正しい生活、携帯電話の使用方法やゲーム依存の防止などの指導による心と体が調和した優れた人格形成
- ・いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応

6 「特別支援教育」

- ・支援を必要とする児童生徒への個別指導を行うため、通級指導教室の充実
- ・特別支援教育支援員の配置と関係機関との連携による適切な支援

7 「部活動の地域移行」

- ・中学校の部活動を社会教育として行う「地域クラブ活動」への移行のあり方について検討を開始

8 「中高一貫教育」

- ・魅力ある中高一貫教育とするための見直し

9 「北海道湧別高等学校への支援」

- ・湧別高校の魅力化と入学者数の増加を図るため「北海道湧別高等学校存続対策事業」を実施
- ・ソフトテニス部とeスポーツ部新設のための支援
- ・生徒全国募集のための支援

10 「国際理解教育の推進」

- ・「英検チャレンジ事業」を継続し、英語検定資格取得に向け対象学年を拡大して支援
- ・海外友好都市との中学生・高校生の交換留学事業と相互交流事業を実施し、ニュージーランドへ相互交流派遣を予定

11 「学校給食センターの運営」

- ・施設内の衛生管理を徹底し、地場産や北海道産の食材を用いたバランスの優れた給食の提供
- ・栄養教諭による食育教育の推進

12 「社会教育の振興」

- ・家庭教育研修会の実施方法の見直しと子育て世代包括支援センターとの連携を密にすることにより、家庭教育への支援体制の充実
- ・小学生の体験塾での地域人材の活用
- ・青少年指導センター事業などによる学習機会の提供や中高生リーダーの養成
- ・青年層の地域リーダー育成と青年団体協議会の活動を支援
- ・「町民大学」「ふるさと講座」など社会教育関係団体の支援
- ・アクティブシニアをターゲットにした短期学習事業の拡充
- ・高齢者の学びを支援、生きがいのある充実した生活の支援
- ・社会教育施設の計画的な整備・適正な管理運営

13 「スポーツ活動の振興」

- ・「サロマ湖 100 キロウルトラマラソン」「上野カップ少年少女柔道大会」など、スポーツ大会の開催
- ・住民参加型イベントを開催し、町民の健康増進、生涯スポーツの推進
- ・体育協会やスポーツ少年団の活動支援、スポーツ指導者の育成
- ・トレーニング室での運動指導や教室を通じて町民の体づくり、健康づくりの推進
- ・五鹿山スキー場のゲレンデ拡幅

14 「芸術文化活動の振興」

- ・子どもから大人までの幅広い年代への優れた芸術鑑賞事業を提供
- ・町民有志団体による芸術鑑賞事業提供への支援
- ・e スポーツ講座を開催し、新しい生活文化に接する機会の提供
- ・文化連盟や文化サークルの活動を支援し、豊かな人間性を育む芸術文化の普及と振興
- ・文化センターTOMロビーを憩いのスペースとして整備

15 「博物館及び文化財保護活動」

- ・学校教育との連携による体験型学習プログラムの提供
- ・「シブノツナイ 堅穴住居跡」の発掘調査の継続と専門家による調査検討委員会の開催、出土資料の科学的分析
- ・収蔵資料の整理、適正な保存

16 「図書館活動の振興」

- ・本の継続的な購入、図書の展示や質問への対応などによる図書館機能の充実
- ・第2次「子どもの読書活動推進計画」に基づき、「ブックスタート」事業、学校図書支援、移動図書館車運行、各ボランティアとの協働による読書機会の提供

図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

今月の読書・本についての 名言・格言

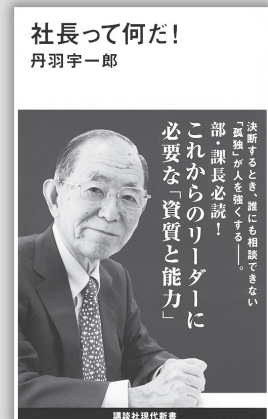
世界の偉人や有名人たちは、本にまつわるステキな言葉をたくさん残しています。毎月その中から、読書のきっかけになれるように紹介していきます。

今月は、**丹羽 宇一郎**（伊藤忠元社長）

「読書は私たちを

未知の世界へ誘う扉なのです。」

「社長って何だ」講談社：刊



湧別小学校で「図書館と連携授業」

令和4年度では、湧別小学校の4～6年のクラスに行き、学習のテーマにそって本の紹介を行いました。



1月18日、6年生の「詩の楽しみ方を見つけよう」という単元の授業でした。国語の教科書で紹介されている作家の本や、図書館で人気のある詩集を紹介しました。また、本の紹介のあとは、作者の綴った言葉を繰り返し読むことで、読解力を身に付けてもらえるように、詩集「のはらうた（工藤直子：著）」を題材に、作中の詩のテーマになっている動物等を当てるクイズを用意して、楽しい授業になるよう工夫しました。

4月の図書館休館日

4月3日（月曜日）、10日（月曜日）、17日（月曜日）、24日（月曜日）

*図書館の休館日の際の返却は玄関のブックポストをご利用ください。

【開館時間】 10：00～18：00

【貸出冊数】 ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】 中湧別図書館 電話 2-3150
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】 2週間

湧別図書館 電話 5-3122
lib-y@town.yubetsu.lg.jp

埋蔵文化財シリーズ66
一町内の遺跡13

身近な場所に遺跡!?

【川 西】

博物館だより
一ふるさと館 JRY・郷土館一
【第158号】

遺跡は、みなさんのお住まいや普段利用する道路の近くなど意外と身近なところにあるものです。今回は湧別町にある57か所の遺跡のうち、川西にある遺跡をご紹介します。



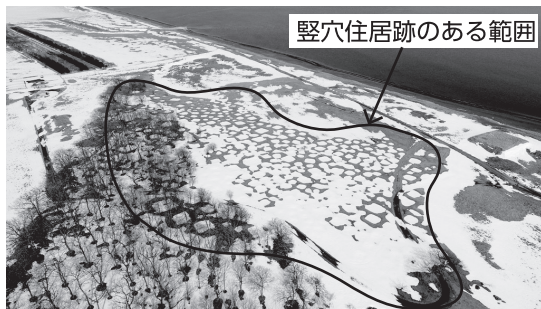
川西では4か所で遺跡が確認されています（左図）。遺跡の特徴は、多くの遺跡で竪穴住居跡が窪（くぼ）みのまま確認できることです。一番数が多いのはシブノツナイ竪穴住居群の530基ですが、近くの川西2遺跡は102基、川西オホーツク遺跡は49基あり、まとまった範囲に681基も確認できます。

シブノツナイ竪穴住居群では平成30年から計画的に発掘調査を行っており、擦文文化後期（11世紀前半から12世紀中ごろ）に集中的に形成された竪穴群であることがわかってきました。このような遺跡は北海道だけでなく全国でもとても珍しいため、最近ではテレビ番組や新聞で取り上げられ、また考古学や文化財関係の催しでは写真がポスターなどで使用されることが増えてきています。

令和5年度には、文化庁が本州で開催する展示会で川西地区のシブノツナイ竪穴住居群が紹介される予定です。詳細が決まりましたらご紹介いたします。



遺跡番号	遺跡名	主な所在地	年 代
32	川西オホーツク遺跡	川西516	オホーツク・擦文文化
34	川西遺跡	川西604	不明
35	シブノツナイ竪穴住居群	川西499-1ほか	縄文・続縄文 ・オホーツク・擦文文化
56	川西2遺跡	川西501-1ほか	続縄文・擦文文化



注目されているシブノツナイ竪穴住居群の写真
白い水玉模様の一つひとつが竪穴住居跡



竪穴住居跡の窪みに雪が残り、数や形が一目でわかる！
530基が木に遮られず一目で見られるのはシブノツナイだけ

* 遺跡の位置・内容の詳細は、北海道教育委員会ホームページ「北の遺跡案内」でも確認できます。

湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年3月号 No.158

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…北湧印刷（湧別町緑町）発行…令和5年3月24日

記事へのお問い合わせは下記へ

* 社会教育課社会教育グループ…電話：01586-5-3132 FAX：01586-5-3710
メール：shakyo@town.yubetsu.lg.jp

* 湧別図書館…電話：01586-5-3122 FAX：01586-5-3256

* 中湧別図書館…電話：01586-2-3150 FAX：01586-2-3190

* ふるさと館 JRY…電話：01586-2-3000 FAX：01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。